

■お問い合わせ先 建設課都市整備係 ☎0997-72-1197

令和3年度 町営住宅入居者募集

■申込資格

▽瀬戸内町に住所を有すること。

▽その者と同居する者は親族（婚姻の届出をしないが事実上婚姻関係と同様の事情にある者その他婚姻の予約者を含む）に限る。

▽現に住宅に困窮していることが明らかかな者であること。

▽入居申込者の世帯所得が収入基準額（月額158,000円）以下であること。

▽各種町税及び使用料を滞納していない者であること。

▽その者又は同居親族が、暴力団員により不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律七十七号）第二条第六号に規定する暴力団員でないこと。

▽その他、公営住宅入

居基準に該当する者

▽また、公募及び随時入居申込みにて入居待機されている方も再度申込みが必要になります。

■受付期間

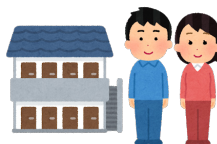
令和3年1月12日（火）～1月22日（金）※土日祝日除く

■料金

▽家賃（世帯所得額による）▽敷金（家賃×3か月分）

★詳細は、町HPをご覧ください。

↑こちらから町ホームページをご覧ください



↑こちらから町ホームページをご覧ください

～新型コロナウイルス感染症に心で負けない行動を！～



- 偏見や差別を許さない。
- デマや誤った情報に惑わされない。

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、感染へのおそれや不安などから、感染者やそのご家族に対する誹謗・中傷、インターネット上での悪質な書き込み等が行われています。

また、医療機関や介護施設、物流・交通事業、小売業等で働いておられる、私たちの命を守り、暮らしを支えてくださっている方々とそれぞれのご家族、県外から来られた方などへの差別的言動も発生しています。

さらに、感染防止のために、休校や営業自粛、施設の消毒の徹底など、誠実な対応をとってこられた学校、商業施設や飲食店等の事業所に対する、いわれない非難が行われているほか、憶測によるデマや誤った情報が拡散されており、それぞれの業務や関係の方々の生活は、大きな影響を受けています。

このような人権を侵害し、仕事や暮らしを脅かす行為は決して許されるものではありません。

県民の皆様には、偏見や差別を行うことなく、デマなどに惑わされることなく、冷静に行動してくださるようお願いいたします。

STOP! コロナ差別!

新型コロナウイルス感染症は、誰にでも感染リスクがあります。

差別や偏見、いじめ、SNSでの心ない書き込みなどは決して許されません。正しい情報に基づき、冷静な行動をお願いします。

闘う相手は人ではなくウイルスです。

町民一人ひとりが、お互いの立場に立ち、思いやりの心を持って、支えあいながら、この難局を乗り越えていきましょう。

■差別や偏見に関する主な相談先

(全国共通)

みんなの人権110番 ☎0570(003)

子ども人権110番 ☎0120(007)

女性の人権ホットライン ☎0570(070)

外国人語人権相談ダイヤル ☎0570(090)

911



■申込・お問い合わせ先 教育委員会総務課学校教育係 ☎0997-72-0113

瀬戸内町小規模小学校入学(転学)特別認可制度について

この制度は、小規模校の特性の中で教育を受けさせたいという保護者・児童に、特別に入学・転学を認め、小規模校の存続及び過疎地域の活性化を図ろうとする制度です。

■入学(転学)できる学校

▽篠川小学校▽薩川小学校▽西阿室小学校▽諸鈍小学校▽伊子茂小学校▽油井小学校▽嘉鉄小学校

■入学(転学)の条件

①古仁屋小学校・阿木名小学校に在籍(入学予定)する児童で、入学(転学)することによって学級数が減にならないこと。

②1年以上通年通学する児童

③原則として自力通学(片道1時間以内・路線バス通学を含む)できる児童

④入学(転学)を許可した後、申込みの事実と異なり、または趣旨・目的に合わない事実が生じ支障があると認められるときは、入学を取り消すことがあります。

■募集期間

1月6日(水)～2月1日(月)

開発基金の融資制度について

奄美群島の産業振興のために必要な資金を
様々な業種の方へ融資しております。



農地購入



果樹植栽



家畜購入



中古船取得



農林水産物の流通加工



観光関連産業



地域活性化



地域資源振興

融資利率:年0.30%~年2.86%(R02.10.16現在)

(一部の資金は鹿児島県から利子補給があります。)

融資期間:最高20年(一部据置あり)上記以外にも融資の種類があります。



独立行政法人
奄美群島振興開発基金

まずはお気軽にお電話ください。

〒894-0026
奄美市名瀬港町1番5号
※屋仁川駐車場をご利用いただけます。

0997-52-4511

コロナの収束を祈る花火

所 2 内 峡 島 大 を 祈 り 散 退 一 斉 に 花 火 が 打 ち 上 げ ら れ ま し た

コロナ収束を祈願して
11月27日(金)、大島海峡
内の2か所(古仁屋沖、
瀬相沖)より一斉に花
火が打ち上げられまし
た。

この企画は、役場商工
観光課が主催。同課は
「新型コロナウイルス
の影響で、本町の行事
やイベント等が中止と
なっており苦しい状況
にある中、このコロナ
禍の、現状打破、医療
従事者への感謝、すべ
ての方々に感謝、コロ
ナの収束」そして皆さ
んに「元気を」という
思いを込めて企画しま
した」と趣旨を説明。
退散花火の周知時には
①密集密接を避けるこ
と②人との距離を1m
以上空けること③マス
クの着用等をポスター
等で呼び掛け、感染症
対策に配慮した形で実
施され綺麗な花火が打
ち上げられました。



↑古仁屋から見た花火



↑高知山から見た花火



↑実際の打ち上げ映像を町公式 YouTube でご覧いただけます
(普段見られない台船からの臨場感あふれる映像も視聴可能！)



明るい選挙推進に貢献



加納良三さん、明るい選挙推進協議会

12月1日(火)、鹿児島県明るい選挙推進協議会の表彰規程による表彰式があり、委員として10年以上ご尽力された加納良三さんへ表彰状が授与されました。平成21年5月から委員として活動し、平成24年12月から委員長として、明るい選挙推進協議会と連携しながら、町の選挙投票率向上、クリーンな選挙の実施に貢献されてきました。
加納さんは「これからも町の投票率の向上や、公正公平で明るい選挙の推進に貢献できるように努めてまいります」と話しました。受彰おめでとうございます。

優しさと思いやりの心を育む



名木阿木運動の花権人 小中学校で実施

令和2年度「人権の花」運動が阿木名小中学校で実施され、12月3日(木)、奄美人権擁護委員協議会及び鹿児島地方事務局から感謝状と記念品が贈られました。
この「人権の花」運動は、主に小学生を対象とした人権啓発運動で、生徒が協力し花を栽培することで、優しさや思いやりの心を育てることを目的とした運動です。
阿木名小中学校では、生徒の皆さんの手で人権の花「ひまわり」を種から育て、見事に綺麗な花を咲かせました。

世界自然遺産登録へまっしぐら！！

特定外来生物「ツルヒヨドリ」の防除大作戦が行われました！

11月27日(金)、環境省奄美群島国立公園管理事務所、瀬戸内建設業協会、世界自然遺産せとうち町対策委員会が連携して、世界自然遺産登録に向け、自然環境の保全対策、機運の醸成や地域住民の意識の高揚を目的に町道網野子峠線(旧国道58号線勝浦集落付近)で特定外来生物「ツルヒヨドリ」の防除作業が行われました。

作業前には、瀬戸内建設業協会会長伊東一宏氏、環境省奄美群島国立公園管理事務所長の阿部慎太郎氏があいさつされ、環境省の後藤氏が参加者全員にチラシを配布し「ツルヒヨドリ」の特性や防除方法などを説明しました。作業は約70名が草刈り機、カマ、ナタなどを使用して約6時間作業し、2トントラック7台分2320kg(ゴミ袋約400袋)のツルヒヨドリ、雑草の防除を完了。参加者のひとり「ツルヒヨドリが、在来生物だけでなく農作物にも大きな被害を及ぼす可能性があること、世界の侵略的外来種ワースト100に指定されていることなどを知ることができ勉強になった」と話しました。また、瀬戸内建設業協会の伊東会長は、昨年の特定外来生物「ボタンウキクサ」、緊急外来生物「アメリカハマグルマ」の防除作業に引き続き、関係機関と連携協力して作業を実施することができた。今後も世界自然遺産登録に向け、業界として自然環境の保全に協力していきたい」と話しました。同対策室の重村室長は「本町には特定緊急外来生物と言われる

る外来生物が繁殖している現状にあるので分布を調査し、引き続き、各関係機関、関係市町村、地域住民の方々と連携しながら外来生物の防除活動に力を入れていきたい」と話しました。



防除活動の様子



終了後に記念撮影

加計呂麻島

「島の保健室」活動報告

その四

加計呂麻島に「島の保健室」が開所して、3年目になりました。「チームせとうち我がが愛事業」の一環として、困りごとの解決サポートを少しづつ加計呂麻島住民の方には、声をかけてもらえるようになりましたが、もっと知ってもらえるように、活動を紹介したいと思います。



今回は、島の保健室の日頃の様子をご紹介します。相談や役場の窓口代理業務を行っている島の保健室ですが、年間で寄せられる相談件数はそれほど多くありません。『相談が多い=困っている人が多い』となるので、相談が多いことは良いことではありますが・・・。

さて、私は集落を訪問して、偶然出会った人に声をかけて、よくおしゃべりをします。内容は他愛のない世間話や、島での生活についてなどです。他愛のない話ですが、人とおしゃべりには様々な効果があります。もちろん私への効果もありますが、会話の効果についてお伝えしたいと思います。

普段何気なくしているおしゃべりですが、元気をくれるものです。会話には、①ストレス解消②人とのつながりを作る③脳が活性化④脳血流を増やす、という効果があると言われています。私にとっては、②の人とのつながりを作る効果は絶大で、一人の人との出会いから多くの島民との出会いにつながります。③④の効果は、脳を元気にして、認知症の予防につながります。独り暮らしだと人と話をする機会が少なくなります。そして今年は、新型コロナウイルスの流行によって、おしゃべりをする機会が減っていると思います。感染予防の観点から会話も気を付けなければならないことではありますが、おしゃべりにも大切な効果があることを知ってください。

不定期ではありますが、集落の訪問や地域サロン活動への訪問も行っています。その際には一緒におしゃべりを楽しみましょう。



古高だより

自主自立 敬愛和協 明朗端正 勤勉誠実

鹿児島県立古仁屋高等学校
〒894-1508
鹿児島県大島郡瀬戸内町古仁屋 399 番地 1
[TEL]0997-72-0034 [FAX]0997-72-0057
<http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/koniya/>

第7回定期演奏会

11月15日(日)、本校体育館で吹奏楽部による定期演奏会が開催されました。1年生4名、2年生8名の部員が、来年度吹奏楽コンクール課題曲『トイズ・パレード』を皮切りに、映画音楽や演歌、最後には『J-BEST~日本を勇気づける名曲たち』を演奏し、会場に元気を届けました。

マスク着用、検温、連絡先記入など「新型コロナウイルス感染症対策の徹底」や「地域の方々へ日々の感謝を伝える」、「地域の方々を元気づける」を目標に掲げ、部員一人一人がアイデアを出し合い、部員一丸となって準備や練習を行いました。

ご来場くださった皆様、ありがとうございました。



企業見学・郷土研修

11月17日(火)に近畿大学水産研究所奄美実験場に見学に行きました。養殖設備だけでなく、真鯛の稚魚やクエタマ、マグロを間近で見ることができ、郷土の産業を学ぶことができました。餌やり体験では、スコップで餌を正確に投げることの難しさや大変さを実感することができ、マグロの習性や魚の体温など初めて知ることも多く、貴重な経験になりました。



集団読書

11月19日(木)のLHRの時間に、集団読書を行いました。テキストは、ある男性が高校時代に受けた壮絶ないじめの経験を話すという村上春樹の「沈黙」という小説です。この作品を図書委員が音読し、放送で聞いてもらうという企画でした。この集団読書に向けて、図書委員は放課後に準備と練習に励みました。長い小説を段落で振り分けて、各自で何回も読む練習をしました。当日、緊張しながらも、放送室のマイクの前でそれぞれのパートを一生懸命読みました。その声は各教室に響きわたり、みんな真剣に聞いていました。今回の感想文を読むと、生徒も色々なことを考えたり、感じたりしたようです。これからも読書を通じて視野を広げていってほしいと思います。



大島紬着付け体験教室

11月24日(火)、1年生を対象に本場奄美大島紬協同組合青年部の方から大島紬に関する講義と着付け指導をしていただきました。講義では大島紬ができるまでの工程や柄を学び、繊細な作業であること、とても時間のかかる大変な仕事であることを学びました。また、大島紬の値段を聞き、驚きもありました。着付け体験では、大島紬の軽さや着やすさを実感することができました。今回の学習によって大島紬を初めて着た生徒も多く、郷土の文化を考える時間になりました。



創立90周年記念 第7号

「郷土の高校!古仁屋高校のあゆみ」

リメンバー古高水産!

鹿児島県立古仁屋高等学校の時代①(昭和28(1953)年)~昭和45(1970)年

現在、古仁屋高校は普通科の高校ですが、鹿児島県立となって以降、昭和29(1954)年に商業科の募集を停止し、別科水産科(2か年制)を併設。昭和30(1955)年には別科家庭芸科を家政科(3か年制)に移行。昭和31(1956)年に別科水産科を水産科(3か年制)に移行し、普通科を1学級削減。昭和39(1964)に普通科を1学級増やしました。その後、昭和45(1970)年に水産科の募集を停止するまで、各学年、普通科2学級・水産科1学級・家政科1学級の規模を誇る学校でした。昭和31(1956)年度の『経済白書』の序文に書かれて流行語となった「もはや戦後ではない」という言葉に象徴されるように、復興から成長へ舵を切った時代でした。当時、本校も高校卒業後に即戦力として社会で活躍する人材を育てる職業系の学科と、大学などへ進学し、高度経済成長期を科学技術や経済などから支える人材を育てる普通科を併設する高校として歩んでいました。(教頭 吉井秀一郎)



「古高水産」と記された浮き輪(昭和29年)

古仁屋高校の服務規律に関するスローガン

「意識して未来へつなげよう」

戸籍の窓

戸籍の窓は、11月に届けられた分のうち、希望者
のみを掲載しています。(敬称略)



お誕生おめでとう



【名前】

【保護者】

【住所】

三原 紬つむぎ 秀典 阿木名
吉谷 律花りつか 守満 古仁屋
森 慶翔けいしょう 隼人 古仁屋
久原 かなで 大悟 久根津
碩 彩斗あやと 健太郎 古仁屋
溜 朔之進さくのしん 新次 古仁屋

♡ご結婚おめでとう

【名前】

【本籍】

佐藤 幸雄 渡連 横濱市
渡部 友理恵
関 英也 古仁屋
仲田 いづみ 阿木名
米村 大輝 古仁屋
柴田 綾乃 福岡市

Wishing you a happy
life together ♪

広報紙郵送料寄付

【名前】

【住所】

沖 秀広 大阪市

ご寄付、ありがとうございました。

おくやみ申し上げます

【遺族】

【年齢】

【本籍】

屋崎 ヨチ子	87	与路
脇田 キミ子	96	古仁屋
時田 眞雄	71	節子
林 アツ子	93	俵
勇 ユキエ	87	古仁屋
永岡 弘道	93	薩川
勝 道子	89	古仁屋
蘇 とし子	84	古仁屋
武田 勝信	90	花富
福山 良藏	87	古志
泰 トミエ	89	与路
福山 秀則	65	網野子
山田 春雄	95	花富
定岡 つぎ子	72	古仁屋

香典返しとして社協へ

【遺族】

【故人】

【住所】

脇田 貞夫	キミ子	船津
上田 哲生	文徳	瀬久井
屋崎 文英	ヨチ子	松江
勝 和清	道子	船津
蘇 七之典	とし子	春日
時田 和子	眞雄	節子
後藤 ひろみ	堯 文枝	清水

総合計金 110,000円也

令和3年1月 休日当番医のお知らせ

休日・祝日の診療は、町内の医療機関が当番制で行っています

■休日当番医予定表

日付	当番医	薬局	診療時間	
1月1日(金)	瀬戸内徳洲会病院		午前	午後
1月2日(土)	瀬戸内へき地診療所	マリン薬局	午前	午後
1月3日(日)	瀬戸内へき地診療所	マリン薬局	午前	午後
1月9日(土)	南大島診療所	南部調剤薬局	午前	午後
1月10日(日)	南大島診療所	南部調剤薬局	午前	午後
1月11日(月)	瀬戸内へき地診療所	マリン薬局	午前	午後
1月16日(土)	瀬戸内徳洲会病院		通常	午後
1月17日(日)	瀬戸内徳洲会病院		午前	午後
1月23日(土)	瀬戸内徳洲会病院		通常	午後
1月24日(日)	瀬戸内へき地診療所	マリン薬局	午前	午後
1月30日(土)	瀬戸内徳洲会病院		通常	午後
1月31日(日)	瀬戸内徳洲会病院		午前	午後

■診療時間

午前：午前9時から正午まで
午後：午後2時から午後5時まで

※「通常診療」の時間は、各医療機関で異なりますので、お問合わせください。

※休日当番医は、**変更になる場合**がありますので、事前に各医療機関にお問い合わせください。

■町内医療機関の電話番号

いづはら医院 ☎ 0997 - 72 - 3307
へき地診療所 ☎ 0997 - 72 - 3211
瀬戸内徳洲会病院 ☎ 0997 - 73 - 1111
南大島診療所 ☎ 0997 - 72 - 0107

※南大島診療所は、阿木名の「老健せとうち」に併設となっております。



— せとうちピックアップニュース —

せとうち海の駅に大きな出現!!

せとうち海の駅 輪場近くに大きなイルミネーションが出現しています！

高さ約6mの大きなスギ科の木に飾り付けられた装飾は、昭和34年生同窓生一同によるもの。製作に携わった向野忍さんは「このイルミネーションを通して、町民はもとより全国の人たちに少しでも明るい気持ちになってもらいたい。コロナ禍の今だからこそ皆で手を取り合って、結いの心」を大事にしていきたい」とイルミネーションの趣旨を話しました。

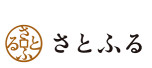
皆さん、ぜひ海の駅へ足を運んでみてください♪



— 瀬戸内町を応援しませんか。 —

地方で生まれ育ち都会に出てきた方には、誰でもふるさとへ恩返ししたい思いがあるのではないのでしょうか。育ててくれた、支えてくれた、一人前にしてくれた、ふるさとへ。

ふるさと納税制度は「好きなまちを応援したい」「ふるさとを大切にしたい」など、応援したいまちへの寄付金です。瀬戸内町へのふるさと納税は下記、QRコードから！



— 瀬戸内町の個性豊かな返礼品のご紹介 —



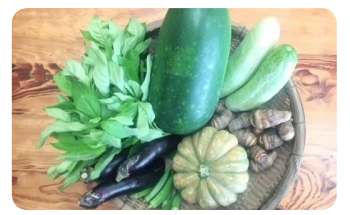
クロマグロ



マンゴー



パッションフルーツ



旬の島野菜

編集後記
「今月の独り言」

新年あけましておめでとうございます!!2020年も広報まさみもよい。広報せとうちをご愛読いただきまして誠にありがとうございました!感謝、感謝、感謝です。

「コロナ禍という非常に苦しい状況に直面している」「今」こそ、広報紙を通して少しでも明るい話題を届けられたらと思っておりますので、本年もどうかご愛読の程よろしくお願いします!

さて、2020年を振り返ってみますと、やはり第一に思い浮かぶのは「新型コロナウイルス感染症」だと思えます。この悪疫が多方面に影響を及ぼし様々なものが失われていきました。広報せとうちもまた例外ではなく、相次ぐイベントの中止を受け、掲載する記事が不足する事態に陥りました。だがしかし、緊急事態を救ってくれたのは他でもない町民の皆さんでした。この編集後記で「書くことが無くなってしまっ

た」とお話ししたところ、瞬く間に電話をいただきました。「うちの庭の花が咲いているから写真撮りに来て」「諸鈍のデイゴが満開だよ」「自宅に珍しいへビが出たからよかったらどうぞ!」(よかったらどうぞ?!と思わず聞き直しました)皆さんの愛を感じたのと同時に、広報紙づくりのやりがいをも感じることができました。

今月の特集で、新成人の実録真さんが話していたように「自分にできる恩返しは、明るい話題をお届けすること」だと意気込んでおります。私自身至らないところばかりではありますが、2021年もクセのある広報せとうちをお届けしますので、どうぞご愛読の程よろしく願います。

結びに、本年も皆さんにとって幸せで実り多い年になりますよう祈念して、1月号お暇させていただきます。1月も皆さんにとって幸せな日々でありますように。



企画課 竹山 雅道

